

1 授業の計画

(1) 小単元名 「情報を伝える人々とわたしたち」～情報を伝える小千谷新聞社～

(2) 小単元のねらい

2つの新聞社（新潟日報、小千谷新聞）の記事を読み比べたり、情報収集、編集、加工の過程を調べたりすることを通して、新聞社（新潟日報、小千谷新聞）に従事する人々が情報収集、編集、加工を工夫しながら記事を作成し、世の中の出来事や地域の魅力を伝えようとしていることを理解し、そのような取り組みが国民生活を豊かにしていることに気付く。

(3) 児童の実態と小単元について

①児童の実態

本学級の児童は、読書を好む児童や新しい学習に対して興味をもって取り組む児童が多い。しかし、既習内容の習得には個人差が大きく、また、自分の考えを発表することを苦手とする児童もいる。児童の実態を把握するためにアンケートを実施した。「自分の考えを、ペアやグループ、全体に伝えることができますか？」に対して、できると答えた児童が72%、できないと答えた児童が28%いた。伝え合う活動に対し、苦手意識を抱いている児童がいるということが分かる。また、「社会科は好きですか？」に対して、好き・どちらかといえば好きと答えた児童は92%、嫌い・どちらかといえば嫌いと答えた児童は8%いた。肯定的な意見としては、「いろんな地域のくらしを知ることができるから」「調べてみんなで意見を出し合うことが楽しいから」、否定的な意見としては、「調べるのが大変だから」「情報がたくさんあって、理解が追いつかないときがある」などの記述があった。調べ活動が好きな児童がいる一方で、調べ活動に苦手意識を抱いている児童がいることが分かる。まず、主体的に取り組むことができるよう、できる限り児童から出された言葉（疑問や願い）で学習課題をつくる。その上で、調べ考える時間、全体で意見を共有する時間をバランスよくとっていく。調べ学習の際には、児童の学習状況を見取り、必要な支援を行うことで調べることにに対する苦手意識をなくしていく。

抽出児は、発言をしようとする手や手を挙げたり、友達の発言に対してうなずきながら聞いたりする姿が見られる。調べたことを共有する場面（主に社会科）や分かったことを答える場面（主に算数や国語）に発言が多い。一方で、自分の思いを表現する場面では、発言はあるものの少し声が小さくなり、自信なさそうに発言する姿が見られるのが気になる。小単元では、教材との出会わせ方を工夫し、興味・関心を高め、「問い」を引き出すようにする。また、学習課題・問題に対して、自分が見方・考え方を基に予想を交流してから学習を進めることで、根拠を明確にした自分の考えや思いを確かにする姿を期待する。

②本小単元について

本小単元は、学習指導要領5学年の内容（4）に基づいて構成する。

ア知識及び技能

(ア) 放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解すること。

(ウ) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。

イ思考力、判断力、表現力等

(ア) 情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

本小単元は、新聞と生活とのかかわりを調べる活動を通して、新聞が様々な情報を提供し、様々な人々がそれらを多方面で利用していることや新聞から発信される情報が国民生活に大きな影響を及ぼしていることについて考えられるようにする。そのため、子どもたちの家庭で購買率が高い「新潟日報」「小千谷新聞」を取り上げる。2つの新聞記事を読み比べたり、小千谷新聞社の記者にインタビューしたりしながら具体的な工夫や努力について調べることで、新聞を今までよりも身近に感じ、新聞産業の様子を捉えることができるようにする。そして、新聞社では、正確な情報を分かりやすく速く伝えるために多種多様な情報を収集、編集、加工していることを理解させる。また、新聞の役割についても考えていく中で、国民は情報にどのような影響を受けているのか、そこからどんなことに気をつけていけないといけいないのかを考えていくこととする。

(4) 小単元の指導計画

次	時	学習内容 子どもの思考	備考
1	1	<p>◎中越大震災について、どう取り上げているのか紹介し合おう。 【抽出児の追求】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新潟日報と小千谷新聞のどっちも中越大震災のことを取り上げていた。あと、小千谷新聞は、3週連続で中越大震災のことを取り上げていた。20周年だから、いつもより多く取り上げているんじゃないかな。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新潟日報に中越大震災のことが書いてあったよ。長岡の山古志地域の人がインタビューされていた。小千谷新聞には、そなえ館とか東山のことが書いてあった。小千谷新聞は小千谷のことを詳しく書いている。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>◎新聞社（新潟日報、小千谷新聞）は、どうやって新聞記事を作っているのか。</p> </div>	<p>・○月□日、△日に中越大震災についての話題を出し、中越大震災について書かれた新聞記事があったら、切り取って置くように声を掛けておく。</p> <p>・紹介が終わったら、他の記事を読み、気になることを問う。</p>
		<p>◎気になることをもとに、学習計画を立てよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新潟日報は、たくさんの記者がいて、その記者の人が取材に行っていると思う。イベントや大会とかにも行っていると思う。小千谷新聞社は、毎日新聞を出しているわけじゃないから、働いている人は少ないと思う。働いている人から話を聞きたい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新潟日報は、いろんな県に記者がいて、取材とかしているんじゃないかな。そうじゃないと、東京のこととか書けないと思う。小千谷新聞社にも、記者とカメラマンがいると思う。イベントがあると取材に行っ、記事になることを集めていると思う。</p> </div> </div>	<p>・◎の解決に向かうためには、誰から来てもらうといいか、どんなことが分かると良いかをはっきりさせる。</p> <p>・中越大震災の記事を中心に据えて考える。</p>
2	3	<p>◎新潟日報は、どうやって新聞記事を作っているのか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>まず取材に行って情報を集めると思う。取材→編集→整理して新聞記事ができあがっているんだね。取材も大変だけど、それを文章にすることも大変だと思う。けれど、そのおかげでいろんな記事を読むことができると思う。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>事件があつたり、イベントがあつたりすると情報が送られているんじゃないかな。記者が取材をもとに記事を書くのか。取材だけでも大変なのに、取材したことをわかりやすく記事にすることはとても大変だと思う。</p> </div> </div>	<p>・新潟日報のHPやDVD、NHK for schoolを活用し、新聞記事ができるまでの流れ（情報を収集、編集、加工）を把握する。</p> <p>・新聞記事とつなげて考えることができるように、新聞記事を提示したり、問い返したりする。</p>
		<p>◎新潟日報の新聞記事のでき方を整理しよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>取材→編集・整理の流れで新聞記事ができる。新潟日報は、新潟県のことだけじゃなくて、都会とか世の中の出来事についてかいているから、取材に行く人はとても大変だと思った。新潟日報の人は、県民の生活に影響がある事柄を記事にしていることが分かった。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>記者がいろんな所に取材に行っていることが分かった。だから、新潟日報の記事を読むと、新潟県だけじゃなくて、都会のことも分かるし、スポーツや経済、世の中のこと、事件や事故についても分かるから良いと思う。ニュースよりも新聞の方が詳しくわかるかもしれない。</p> </div> </div>	<p>・新潟日報の記事を実際に読み、記事の特徴（政治、経済、スポーツなど、世の中の状況を知ることができる。）と関連付けながら、新聞のでき方を整理する。</p> <p>・県民の生活に影響がある事柄、事件や事故の記事にしていることを押さえておく。</p>

3 小千谷新聞社の新聞づくり	5	◎小千谷新聞は、どうやって新聞記事を作っているのか。		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事とつなげて考えることができるように、新聞記事を提示したり、問い返したりする。 ・新潟日報の新聞記事の作り方と比べながら調べる。
		新潟日報と同じように、取材→編集→整理して新聞記事ができあがっていると思う。だから記者はニュースを探して、いろんなところに出かけていると思う。	新潟日報と違って、小千谷新聞は土曜日にしか発行していないから、なにか違いはありそう。取材に行っているのは同じだと思うけど。記者から話を聞いてみたい。	
		小千谷新聞で働いている記者の方から話を聞きたい。		
		<p>聞いてみたいこと</p> <p>①記者はどのように情報を集めているのか。</p> <p>②主にどんなことを記事にしているのか。</p> <p>③集めた情報をどうやって記事にしているのか。</p> <p>④どのように新聞を作っているのか。</p> <p>⑤新聞ができるまでどのくらい時間がかかるのか。など</p>		
	6	◎記者さん（Aさん）から、話を聞こう。		<ul style="list-style-type: none"> ・記者さん（Aさん）と出会う場を設定し、知りたいことを聞く。
		小千谷新聞社は、5人しかいないことに驚いた。そのうち3人で取材をして、記事も書いて、新聞を完成させているなんてすごい。小千谷新聞を読んでみようかな。	小千谷新聞社は、毎週土曜日に発行していることが分かった。いろんな所に取材に行くのはとても大変だと思う。けれど、小千谷市民は小千谷のことを知れるから嬉しい。	
	7	◎記者さん（Aさん）から、聞いたことを整理しよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・記者さん（Aさん）から、聞いたことを整理する。（仕事内容、発行までの流れ、情報の集め方、など）
		小千谷新聞を発行するまでの流れが分かった。取材に行くのも大変だけど、取材したことを記事にすることも大変だと思う。新潟日報と新聞の作り方は似ているところがあった。	記者3人で、取材・執筆→編集→校正をしていることに驚いた。締め切りもあるから、どの役割もとても大切だと思う。けれど、小千谷新聞を読むと、小千谷のことをたくさん知れるからいいと思	
	8	◎応援するって、どういうことなんだろう？		<ul style="list-style-type: none"> ・Aさんが言っていた、「応援する」とはどういうことなのか、小千谷新聞の記事を読みながら探す。 ・地域の人（読者）の感想を知りたい、となったらアンケートの結果を伝える。
		小千谷新聞を読むと地域のイベントや新しくできたお店のことが書いてあった。それは地域の人を応援しようとしていることと繋がると思う。小千谷新聞をとっている人は、地域のことをたくさん知れて嬉しいと思うし、新聞記事を読んだら、Wさんの思いが分かった気がする。	小千谷新聞には地域のことが詳しく書いてあるし、今月〇〇さんが生まれましたとか、そういう明るいことを書いている。その記事を読むと、嬉しい気持ちになるから、良いと思う。応援するっていうのは、みんなが明るくなる記事を書くことなんじゃないかな。	

4 情報との関わり方	9	◎新聞にはどんな特徴があるのだろうか。	<p>新聞を読むとスポーツ、経済、福祉など、いろんな出来事について知ることができる。小千谷新聞を読むと、小千谷のことを詳しく知ることができるし、新潟日報を読むと、新潟だけじゃなくて県外のこととか、世の中のことについて詳しく知ることができる。</p> <p>小千谷新聞を読むと、小千谷のことを詳しく知れるから良いと思う。記者の人も小千谷のために頑張っていた。新潟日報を読むと、世の中のことについて分かるから良いと思う。今までテレビしか見てなかったけど、これからは新聞も読もうと思う。他の新聞も気になるなあ。</p>	・ラジオ、テレビ放送など、他の情報産業と比較しながら考えられるようにする。
	10	◎わたしたちは、情報とどのように関わっていくと良いのだろうか。	<p>流れてくる情報をすぐに信じるのではなく、新聞を読んだり、テレビを見たりして、本当かどうかを確かめることも必要だと思う。お母さんに聞いてみることも大事だと思う。私も勝手な情報を流さないようにしたい。</p> <p>情報を発信する人は、その情報が本当かどうかを確かめてから、発信しないと大変なことになる。TikTok や YouTube の情報だけで、すぐに信じないで、正しいのかどうかを考えてから行動したいと思う。</p>	・情報の送り手と情報の受け手の双方の立場で考えられるようにする。